

ハレ大学 (Martin-Luther-Universität Halle-Wittenberg) 担当教員：シュツテレ

概要 (提携 1985年～ 人数：定員 2～3名)

＜所在地＞	Sprachenzentrum, August-Bebel Str. 13 c 06108 Halle Deutsch als Fremdsprache 06099 Halle (Saale)
ホームページ	http://www.uni-halle.de/
＜沿革＞	1694年創立。ドイツ啓蒙主義、医学の分野で著名な学者が多数輩出した歴史ある大学。マルチン・ルター大学の名称は、ヴィッテンベルクにおけるルターの宗教改革運動にちなんで1933年に付けられた。文学、法学、経済学など7学部があり、中でも哲学、神学、文学などが充実している。学生数は約18,000名。
＜特色＞	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は市の中心地にある大学語学センターで行われ、ドイツ語演習科目に関しては他の外国留学生のために設けられているクラス (International) に参加することになる。図書館や学生食堂などの施設が充実しており、大学生らしい留学生活を送ることができる。 ・ドイツ語専攻以外の学生は、英語で行われる学部授業にも参加できる。 ・留学開始までにドイツの生活環境に慣れるため、9月にドイツ各地で行われる語学研修に参加することを推奨する。希望者はそれに参加し、修了者には2単位認定される。 事前研修の費用と期間はプログラムによって異なる。 費用概算：約800€～1450€ (講座費用+宿泊費+交通費)
＜学生寮＞	学生寮 (1人部屋で、キッチン、バストイレは3～4人共同のユニット) 参考寮費：1ヶ月214ユーロ (インターネット使用料を含む) ※寮契約時に最初の1ヶ月分と保証金(300ユーロ)を支払う。
＜生活＞	日本語を学ぶドイツ人学生や他大学からの日本人留学生も多い。 インターンシップは、これまで少年サッカー指導、大学図書館、動物園、オペラ座など多彩な場所で行われてきた。(基本的に自分で探すか、チューターなどに助けてもらうことができる。) 比較的大きな街で、なんでも揃っている。
＜条件＞	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語専攻：ヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) A1レベルのドイツ語力があると認められること (検定試験の可否、授業成績などから総合的に判断する)。留学前に「ドイツ語基礎科目 (A群) IIIまたはIV」を修了していること。なお、条件を満たしている場合でも、個人留学と変わらない環境で勉強することになるので、自立して生活できると判断できる者。 ・ドイツ語専攻以外：留学時点でドイツ語 I、II を修得済みであること。留学前までにドイツ語 III あるいはドイツ語特別演習 A・B の履修を強く推奨する。これらの科目を履修していない場合は、プログラムの担当教員との面談が必要。TOEIC600点以上。累計 GPA1.5 以上であること (英語2専攻)。
＜留学期間＞	半年留学：2/3年次秋学期、3年次春学期 1年留学：2年次秋学期から1年間 (定員2～3名) (ドイツ：冬学期 10月～2月 / 夏学期 4月～7月)
＜奨学金制度＞	麗澤大学海外留学奨学金・日本学生支援機構奨学金

ドイツ語圏留学年間スケジュール

2024年 1年次～2年次

12月中		
1月 下	次年度ドイツ長期留学要説明会	留学提出書類 ・「留学願」 ・「誓約書」※必ず保証人自筆(提出用・保管用提出) ・「留学支援アンケート」 ・「留学目標シート」 ・「麗澤大学成績証明書(GPA付)」 ・「ドイツ語技能検定試験3級」、「ÖSD初級」、又は「Start Deutsch1」の結果通知票の写し(あれば) ・英語プログラムはTOEFL/TOEICのスコアコピー ・パスポート(写真のページ)のコピー ・留学奨学金申請書類(該当者のみ)
3月 下	留学希望先申請→ドイツ語専攻内で派遣先調整	
4月 中	冬学期留学先決定・発表→名簿提出 ※4月末までに必ずパスポートを取得しておくこと	
4月 下	ドイツ夏季短期研修説明会(8月の語学研修)	
5月 上	留学手続き書類提出→国際交流センター	
中	短期語学研修書類提出期限「参加願」「誓約書」「パスポート」 事前語学研修資料配布 →「参加願」「誓約書」提出	担当教員の指示に従い留学申込(Online手続き他) イェーナ大学・ハレ大学・ヴッパータール大学・マールブルク大学 *ハレの留学者は費用負担能力の証明書が必要。日本でのビザ取得を推奨する。 ・留学説明会出欠連絡(国際交流センター) *事前語学研修参加者は担当教員の指導でOnline登録。入寮申し込み、費用振込。
6月 上	各留学先手続き開始(入学申請書・寮申込) (保証人へ留学説明会案内配布)	
上	ドイツ渡航説明会(フライトについて)	
下	留学準備説明会(*海外留学保険と航空券の斡旋・申込) (学生・保証人)	
7月	留学先大学から入学許可証到着・配布	
8月 上	最終説明会 夏季語学研修出発 2024 ライツヒ	
9月	出発(各事前研修受講者出発) 2024 ドレスデン、ミュンスター	提出書類 ・「留学願」・「誓約書」・「成績証明書(GPA)」・「留学目標シート」 ・TOEFL/TOEIC SCOREコピー・「留学支援アンケート」
9月下～	出発(各大学冬学期留学出発) 各大学夏学期留学募集	
10月	留学先大学冬学期開始 夏学期書類提出〆切 国際交流センター	・住所、TELを担当教員に通知 ・授業時間割を担当教員に送付 ・10月にゼミの申込みを麗澤大学のネット上で行う
11月	2025年夏学期留学手続き開始	担当教員の指示に従い留学申込(Online手続き他) イェーナ大学・ヴッパータール大学・ハレ大学・マールブルク大学・レーゲンスブルク大学
12月上	渡航説明会(*海外留学保険と航空券の斡旋・申込)	
2025年		
1月		
2月	夏学期留学最終説明会 留学先大学冬学期終了 帰国(冬学期留学) 出発(事前研修/レーゲンスブルク)	・帰国後単位認定手続きを行う。下記書類を提出 ①成績証明書 ②単位認定申請願 ③留学報告書 (A4で2枚:2400字以上、ワードで作成。適切なタイトルをつける。ホームページ等に公開する場合もあるので、一緒に掲載できる写真をjpgで添付する。)
3月	レーゲンスブルク大学インテンシブコース開始	
4月	出発(夏学期留学) 夏学期開始	・帰国後単位認定手続きを行う。下記書類を提出 ①成績証明書 ②単位認定申請願 ③留学報告書 (A4で2枚:2400字以上、ワードで作成。適切なタイトルをつける。ホームページ等に公開する場合もあるので、一緒に掲載できる写真をjpgで添付する。)
7月	留学先大学夏学期終了 帰国(1年留学/夏学期留学)7～8月	
8月		
9月		

留学費用(概算)

1€= 160

1) 留学先での費用	半年	金額(半年)	金額(1年)	支払い方法
学部授業料	0 €	¥0	¥0	無料
語学センター有料ドイツ語授業料 (610€/学期)	610 €	¥97,600	¥195,200	週3コマ、夕方遅い時間に行われる。
寮費(214€~ × 10ヶ月)例は最安値 ※部屋によって異なる(PC接続料を含む)	1,070 €	¥171,200	¥342,400	現地銀行口座からの自動引き落とし
寮の保証金 * 退寮時使用状況により返還有り	300 €	¥48,000	¥48,000	寮契約時に最初の1ヶ月分と一緒に支払う。
事前夏期語学講座(希望者)				約800€~1450€ 研修費+宿泊費+交通費
大学登録料(学生証・施設利用 費・交通共通券) 271€×2	271 €	¥43,336	¥130,008	事前に送金、又は現地支払い。
学生疾病保険代(95€×10ヶ月)	447 €	¥71,520	¥214,560	個人によって料金は異なる。毎月銀行引落
ビザ申請費(約100€)	100 €	¥16,000	¥16,000	
食費・生活費(月3万円×10ヶ月)		¥150,000	¥300,000	最初の月は寝具・生活用品の購入費が必要
合計①	2,798 €	¥597,656	¥1,246,168	
2) 渡航費用				
航空運賃(往復)				2024年10/1出発フランクフルト往復
航空券発券手数料				*JAL日本航空の1例
空港使用料		¥239,250	¥239,250	
国際観光旅客税				各自旅行社に支払う
空港税・航空保険料・燃油サーチャージ				
学研災付帯海外留学保険		¥38,370	¥81,370	拡充プラン5ヶ月/10ヶ月の例
合計②		¥277,620	¥320,620	
留学費用概算 合計①+②		¥875,276	¥1,566,788	

3) 麗澤大学への納入金				
授業料		¥415,000	¥830,000	
施設費		¥150,000	¥300,000	期日までに廣池学園経理課へ振込む。
学友会費 1学期のみ納入			¥6,000	(第1学期分3/31/第2学期分9/19)
後援会費			¥30,000	
合計③		¥565,000	¥1,166,000	
留学費用概算 合計①+②+③		¥1,440,276	¥2,732,788	

ドイツ留学 留意事項

留学に際しての留意事項

<p>留学前</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ パスポート、入学許可書、海外留学保険などの重要書類は必ず複数コピーをとり、別に保管する。保護者にも渡しておく。 ・ 写真（パスポートサイズ）を 4~5 枚程度持参する（何かと役に立つ）。 ・ 持病のある人は病歴、処方箋等を記した診断書(独文あるいは英文)を持参する。 ・ 常備薬は必ず持参する。コロナ感染をしたときも役立つ。留学前に歯医者にも行っておくこと。体温計もあると良い。 ・ 就職活動が気になる人は、キャリアセンターで留学中にできることを確認しておく。 ・ 「在留届」を留学先の総領事館に提出する。出発 90 日前から提出可能（2024.5.1～） ・ 「たびレジ」に登録する。
<p>留学中</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい住所や携帯番号がわかったら、家族と国際交流センターに連絡する。 ・ メールは、常時確認し、返事を怠らないこと。 ・ 持病があり、ドイツで通院や薬の処方が必要となる学生は、到着後すぐに現地スタッフにその旨を伝えること。 ・ 留学中は現地レポートを学期に一度は必ず送ること。 ・ 外出の際、必ず身分証明書（学生証）を携行すること。 ・ 危機管理には充分留意し、旅行をする際は外務省のウェブサイト等で安全確認をする。 ・ 貴重品をスーツケースの中に入れてない。大事なものの保管には鍵をかける。 ・ 車、バイクの運転及びバイクの同乗はしない。 ・ 2 年次後期で留学する場合、10 月中旬に留学先から「専門ゼミナール」の申込をする。 ・ 留学期間半ばが過ぎたら「留学目標シート」（留学中）を記入して送信すること。 ・ <u>開設した銀行口座は、帰国前に必ず解約手続きをする。Bahn Card も解約が必要。</u> ・ 空港、駅などで知らない人から荷物を受け取らない。 （ドラッグの運び屋になる危険がある。） ・ 帰国が近くなったら、お世話になった人々にお礼の挨拶をする。 ・ 帰国日・帰国便が決まったら国際交流センターにメールで連絡する。 ・ 帰国前に日本への入国条件、又は乗継地があれば、現地の入国条件をよく調べ、必要な場合、オンラインで事前登録をしておく。
<p>帰国後</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際交流センターに速やかに帰国報告のメールを出す。 ・ お世話になった方々にお礼のメールを出す。 ・ 単位互換に必要な書類を担当教員に提出する。 ・ 帰国後 2 週間以内に留学報告書（A4 で 2 枚 2400 字以上と写真）をワードで作成し、国際交流センターにメールで提出すること。 ・ 帰国後一ヶ月以内に「留学目標シート」（帰国後）を記入し、送信すること。